

# 要 請 書

平成24年10月18日

厚木基地騒音対策協議会

平成24年10月18日

## 厚木基地騒音対策協議会

### 会 員

神奈川県知事	黒岩 祐治 (会長)
横浜市 長	林 文子
相模原市 長	加山 俊夫
藤 沢 市 長	鈴木 恒夫
茅ヶ崎 市 長	服部 信明
大 和 市 長	大木 哲
海老名 市 長	内野 優
座 間 市 長	遠藤 三紀夫
綾 瀬 市 長	笠間 城治郎
町 田 市 長	石坂 丈一
神奈川県議会議員	竹内 英明
神奈川県議会議員	藤代 ゆうや
神奈川県議会議員	平本 さとし
神奈川県議会議員	菅原 直敏
神奈川県議会議員	谷口 かずふみ
神奈川県議会議員	笠間 茂治
横浜市 会議長	佐藤 茂
相模原市議会議員	中村 昌治
藤沢市議会議員	渡辺 光雄
茅ヶ崎市議会議員	榎木 太郎
大和市議会議員	大谷 仁
海老名市議会議員	氏家 康太
座間市議会議員	沖本 浩二
綾瀬市議会議員	綱嶋 洋一
町田市議会議員	田中 修一

### 顧 問

衆議院議員	中塚 一宏
衆議院議員	橘 秀徳
衆議院議員	本村 賢太郎
衆議院議員	河野 太郎
衆議院議員	阿部 知子
衆議院議員	甘利 明
衆議院議員	勝又 恒一郎
衆議院議員	後藤 祐一
参議院議員	牧山 ひろえ
参議院議員	水戸 将史
参議院議員	松 あきら
参議院議員	小泉 昭男
参議院議員	中西 健治
参議院議員	金子 洋一

平成 24 年 10 月 18 日

殿

厚木基地騒音対策協議会

会長（神奈川県知事）

黒 岩 祐 治

厚木基地における米空母艦載機の夜間連続離着陸訓練による航空機  
騒音の解消等に関する要請

厚木基地周辺では、200万人を超える住民が、航空機騒音により、長年にわたり堪え難い苦痛を強いられており、神奈川県及び基地周辺市は、かねてより、このような航空機騒音問題の抜本的解決を求めてまいりました。

こうした中、平成18年5月には在日米軍再編協議において、騒音被害の主な原因である空母艦載機を2014（平成26）年までに移駐させることや恒常的訓練施設を2009（平成21）年7月又はその後のできるだけ早い時期に選定することを目標とすることが日米両国政府間で合意されました。しかし、移駐の期限まで2年余りとなり、多くの課題があると思われる中で、移駐についての具体的なスケジュールや進捗状況等についての情報提供が未だにありません。

また、恒常的訓練施設については、ロードマップ<sup>(注1)</sup>では移駐の前提とはされていないものの、依然として設置場所が特定されていません。

さらに、移駐実現までの間、基地周辺の住民は、特にNLP<sup>(注2)</sup>前後の激しい騒音や、墜落、部品落下、不時着などの事故への不安にさらされ続けなくてはなりません。

特に本年においては、2月にEA6Bプラウラーからの部品落下事故が発生したことに加え、5月22日から24日までの3日間にわたり、空母艦載機の着陸訓練及びその後に深夜飛行が実施され、周辺住民はさらなる負担や耐え難い苦痛を強いられました。

三次にわたる騒音訴訟でも、基地周辺住民が受忍限度を超える騒音被害を受けているとの司法判断がなされていることは、その負担の深刻さを示しています。

ついては、厚木基地騒音対策協議会では、一日も早い騒音問題の抜本的解決を図るため、国の責任において、先の二国間合意を踏まえ、特に次のことを早急実現するよう要請いたします。

また、文書にてご回答くださいますよう併せてお願いいたします。

注1：ロードマップ… 在日米軍再編協議において平成18年5月1日に合意された内容を記載した文書。正式には「再編実施のための日米のロードマップ」。

注2：NLP … Night Landing Practiceの略

## 1 空母艦載機の移駐等を着実に実施すること

- (1) 貴職におかれては、空母艦載機の移駐の早期実現のため、施設整備や訓練空域の調整などを着実にを行うとともに、移駐にかかる諸課題の解決に向けた協議等に全力を尽くされるよう求めます。
- (2) 移駐の具体的なスケジュールや現在の進捗状況、移駐後の厚木基地周辺における騒音状況の予測について、早期に情報を提供するよう要請します。

## 2 恒常的訓練施設を確保すること

2009（平成21）年7月又はその後のできるだけ早い時期に選定することを目標とされている恒常的訓練施設については、貴職の責任において、早期に選定し、移駐実現までに必要な施設整備等を終えるよう、また、その見通しについて、速やかに情報を提供するよう要請します。

## 3 移駐実現までの間も、騒音問題の解決に積極的に取り組むこと

- (1) NLPの硫黄島での全面実施及びNLP直前の集中的訓練の硫黄島の活用等

貴職におかれては、人口密集地域にある厚木基地周辺住民の深刻な騒音被害の状況を深く認識され、NLPの硫黄島での全面実施及びNLP直前の集中的訓練における硫黄島の活用などについて、積極的に米側と調整するよう、強く要請します。

その実現に向けて、

ア 本協議会が提案している、いわゆる「直結方式」<sup>(注3)</sup>や硫黄島での予備日の設定など、必要な措置についての多角的な検討を行うこと

イ 支援態勢、施設の一層の拡充、整備を推進することを求めます。

- (2) 激しい騒音の発生が予想される飛行に関する事前情報提供

住民の苦痛を少しでも軽減・緩和するために、NLPに限らず、激しい騒音の発生が予想される飛行については、貴職の責任において、適時、的確な情報提供を行うとともに、住民への十分な説明を行うよう要請します。

注3：直結方式…空母艦載機の帰還と着艦を、空母と硫黄島の間で直接行うとともに、NLPと通常訓練をすべて硫黄島で行う方式